

平成29年度 スポーツ庁委託事業

**大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版N C A A）
創設事業（大学スポーツ振興の推進）
成果報告書**

日本体育大学

目次

1. 事業の趣旨および目的	1
2. スポーツ分野の統括業務の実施	
(1) 大学による学友会クラブの支援・管理の実態調査	3
(2) 一体的統括に向けた体制整備	4
3. 大学スポーツ・アドミニストレーターの配置	
(1) NSSU AD の取り組み	5
(2) スポーツ・アドミニストレーターの主な業務内容	6
(3) 社会貢献活動・スポーツ教育活動・スポーツボランティア活動	7
(4) 大学スポーツ振興のあり方について検討するためのシンポジウムの開催	9
(5) 学生アスリートのキャリア形成支援	12
4. 学生アスリートの経済的負担軽減を目的とした部費以外の収入の確保	
(1) マイナー競技のスポンサー獲得に向けた取組	15
(2) コーチ向けワークショップの開催	16
5. まとめ	18



1. 事業の趣旨および目的

日本体育大学は、明治24年の創設以来「体育富強之基」の建学精神に則り、今日まで一貫して体育・スポーツの振興に努めてきた。また、本学のミッションでは「スポーツ科学全般の先駆的研究」、「国民の体力向上」、「国際的な競技力向上」、「スポーツ文化の深化・発展」、「生涯スポーツ社会の構築」を謳い、これらの実現に向かってきた。実際に本学が有する学部はいずれも体育・スポーツ・健康に関するものであり、今後も教育・研究領域の拡大が向かう先は「身体に纏わる文化と科学の総合大学」である。したがって、今後も国内における大学スポーツの振興を持続的に推進していくことが本学の使命の一つであることは明確である。

理念

「体育富強之基」について

基之強富育體

真に豊かな国家・社会を実現するためには、体育・スポーツの普及・発展を積極的に推進し、健全な心身を兼ね備えた全人格的な人間を数多く育成することが肝要である。

Mission

ミッション(社会的使命)

- 1 スポーツ科学全般の先駆的研究およびその実践を通じて、人間の心身が有する可能性を総合的に究明し、国民の体力向上、ひいては国際的な競技力向上に貢献する。
- 2 我が国のスポーツ文化の深化・発展に努めるとともに、オリンピック・ムーブメントを主導的に推進し、スポーツの「力」を基軸に、国際平和の実現に寄与する。
- 3 トップアスリートはもとより、地域社会において指導者やリーダーとして活躍しうる人材を輩出し、健康で豊かな生涯スポーツ社会を構築するための原動力となる。

Vision

ヴィジョン(目標)

独自の教育・研究プログラムを創造的に展開し、我が国の体育・スポーツ界および来たるべき知識基盤社会ならびに地域振興をリードする大学を目指す。

また同時に、心身ともに逞しく、明朗快活で、自ら選択した職種の現場において強い即戦力として活躍できる人材の育成を図る。

平成 29 年 4 月からは、本学におけるスポーツを管理し一層の振興を図るため従来のスポーツ局を改組し、その役割を拡大・強化させた「日本体育大学アスレティックデパートメント（Nippon Sport Science University Athletic Department : NSSU AD）」を設立した。NSSU AD の目的とミッションは次のとおりである。

《目的》

日体大のスポーツの価値を高め、その魅力を広めることで、大学スポーツの振興に寄与する

《ミッション》

①アスリートの資質の涵養と競技力向上を支援する

②安全・安心にスポーツを行える環境を整備し、

アスリートたちが競技に打ち込める体制を構築する

③日体大のスポーツと社会との結びつきを強め、

社会の課題解決に貢献するとともに日体大の誇りを高める

④日体大のスポーツの魅力を広く発信し、分かりやすく伝える

すなわち、本学では今後も NSSU AD を中心として、本学が開学以来蓄積してきた各種スポーツ資源を学内において活用することで本学アスリートの競技力向上と人材育成、外部資金の調達を図るとともに、それらのスポーツ資源を社会において有効活用することで競技力向上を中心とした大学スポーツの振興、国内スポーツの振興、さらには社会における課題解決に貢献することを戦略的に推進していく方針である。

そのような方針の下に位置付けられる本事業では、日本体育大学が保有するスポーツ資源を一元的に管理・活用する体制を整備し、スポーツ・アドミニストレーターが中心となって大学アスリートのキャリア形成支援や部費以外の収入の確保等に関する取り組み等の先進的モデル事業を展開することによって、本学のスポーツがさらなる推進を図り、もって大学スポーツの振興に貢献することを目的とする。





2. スポーツ分野の統括業務の実施

(1) 大学による学友会クラブの支援・管理の実態調査

組織体制整備の主な目的は、学内の運動部の運営支援や学生アスリートの管理、スポーツ施設の運営管理、スポーツを通じた大学ブランド力の向上など、学内のスポーツ分野を一体的に統括する業務をNSSU ADが行えるようにすることである。そこで、学友会の一体的統括部局を設置するにあたり、まずはこれまでの学内における学友会クラブの管理実態を把握するとともに、各種関連規程の整理・改正による学友会の一体的統括部局創設の準備作業として、本学学友会所掌部署における業務内容等の確認を行った。各部署における主な学友会関連業務は次のとおりである。

主な学友会関連業務

《アスレティックデパートメント》(旧スポーツ局)

- ・重点強化種目・重点強化選手の選定、強化費による経済的支援、コーチ・トレーナーの人的支援
- ・スポーツ専門職(コーチ・トレーナー)の配置

《学生支援センター・生活支援部門》—学友会活動全般の支援

- ・学友会総会・運動部長会議・運動部祝勝会の開催支援、学友会配当金の調整
- ・箱根駅伝の応援・クリーン大作戦・学友会加入案内・合同説明会の支援
- ・特別奨学生への対応、公認欠席の申請・スポーツ賠償責任保険に関する事務
- ・運動部強化補助金の配分、保護者会援助金の配分、活動褒賞の授与、卒業表彰に関する事務
- ・熱中症予防・アンチドーピング等の普及推進

《学生支援センター・学習支援部門》

- ・試験および成績等の整理・オンデマンド学習支援システムの運用に関する事務
- ・履修および学習に関する相談

《学生支援センター・キャリア支援部門》

- ・学友会クラブ所属3年生全員との個別面談
- ・進路決定に関する講座・セカンドキャリアに関する講習会等の企画・運営
- ・就職の相談・指導・推薦に関する事務、進路先調査

《庶務課》

- ・学友会講師(指導者)の採用・業務遂行管理・報告書提出に関する事務
- ・教職員の活動表彰・学友会活動に関する出張等の事務

《会計課》

- ・各種補助金・褒賞金等の配分業務
- ・外部監査員による学友会全クラブの会計監査の支援

《施設課》

- ・学内施設(スポーツ施設を含む)の維持管理
- ・学友会クラブによる施設の利用・競技連盟等の外部団体への施設貸出に関すること

《広報課》

- ・学友会パンフレットの作成、活動内容・競技結果のホームページへの掲載
- ・国際大会出場情報・競技実績等に関する横断幕の作成・掲出、取材対応
- ・メディアクリッピング、広告効果の調査、応援グッズの作製・配布、ロゴ等VIの管理

《スポーツプロモーション・オフィス》

- ・学友会クラブによるスポーツ教室等の社会貢献活動の主催・運営
- ・外部団体から学友会クラブに対する講師派遣依頼への対応・調整

(2) 一体的統括に向けた体制整備

以上の各部署における学友会関連業務をとりまとめ、本学スポーツの一体的統括部局として機能するため、NSSU AD 内に学友会各担当係（兼務発令）を配置し組織体制を整えた。

組織

アスレティックデパートメント長 アスレティックデパートメント長補佐		
スポーツ・アドミニストレーター		
スポーツマネジメント部門 ■アスリートのキャリア形成支援 ■ブランド価値の向上と広報活動 ■スポーツ観戦・応援活動の支援 ■地域・社会・企業との連携の創出と強化 ■他大学・連盟との連携・調整 ■日体大のスポーツへの資金的支援、事業開拓 ■スポーツボランティアの普及啓発 ■知的・人的・物的スポーツ資源の有効活用	スポーツ施設管理・運営部門 ■スポーツ施設の管理・運営 ■スポーツ施設の活用 ■スポーツ施設の地域への開放	競技力強化支援部門 ■スカウト事業の強化 ■タレント発掘事業の実施 ■重点強化選手・種目の選考と強化策 ■障がい者スポーツの強化策 ■学友会との連携 ■NASS 事業に関わる付置機関の活動評価

ハイパフォーマンスセンター	 NASS Nittaidai Athlete Support System NASS（日体大アスリートサポートシステム） 医・科学サポート、パラアスリートサポート、 コーチングサポート、研究サポート、タレン ト発掘から構成されており、各部門において 幅広い知識を持つ専門家が学生アスリートの 可能性を広げるための支援を行います。
コーチングエクセレンスセンター	
スポーツ・トレーニングセンター	

アスレティックデパートメント事務室

学友会統括担当係							
施設係	庶務係	広報係	会計係	学生生活 支援係	キャリア 支援係	学習支援係	アスリート キャリア アドバイザー



3. 大学スポーツ・アドミニストレーターの配置

(1) NSSU AD の取り組み

1. アスリートの資質の涵養と競技力向上

- ・競技力強化・・・NASS による医・科学サポートやコーチ研修
- ・学習支援・・・個別学習相談とオンデマンド学習支援システム
- ・キャリア支援・・・講習会の実施とアドバイザーによる個別相談

2. 安全・安心にスポーツを行える環境整備

- ・ケガの予防・・・コンディション管理による外傷・障害予防
- ・ケガの対応・・・保険の充実とトレーナーによるリハビリテーション
- ・施設の整備・・・トレーニング施設の拡充と整備および管理

3. 社会との結びつきの強化

- ・地域貢献・・・スポーツ教室や競技体験会および試合への招待
- ・企業連携・・・スポンサーの獲得および企業研修の提供
- ・研究機関・・・共同研究および共同開発事業の展開

4. 日体大のスポーツの魅力発信

- ・試合中継・・・対校戦等のインターネットによる配信
- ・応援文化・・・クラブ間の応援交流や地域サポーターの募集
- ・広報活動・・・マスコットキャラクターの作製と活用

(2) スポーツ・アドミニストレーターの主な業務内容

本学においては、本事業実施以前にスポーツ・アドミニストレーターを配置済みであった。本事業では、当該スポーツ・アドミニストレーターの下に事業推進スタッフ（1名）およびアスリート・キャリア・アドバイザー（1名）を配置し、3者の協働により次の事業を実施した。

《社会貢献活動》

- ・全クラブへのアンケート（活動実施の意向・実施可能な活動内容等）
- ・実施クラブおよび実施内容の相談・決定、ポスター・実施要項・スケジュール・会場計画の策定
- ・広報・集客、申し込み受付、参加者の管理、参加者への連絡、保険申込
- ・前日準備、当日運営（司会・誘導・ケガ人対応等）、後片付け、報告書作成

《学外組織との連携》

- ・学外からの有料講座・出張授業・共同研究等に関する連携への対応、相談
- ・学内資源の把握、講座実績情報の収集、学内組織体制の整備、担当者の決定
- ・法人と企業・他大学との連携の締結（コナミスポーツ・共同通信社）

《外部資金獲得》

- ・プロスポーツクラブのスポンサー企業社長へのインタビュー
- ・学内で提供できるスポンサーメリットの企画・調整・確認
- ・スポンサー企画書の作成
- ・衣料メーカー、食品関連企業、製薬会社、テレビ放送局等とのミーティング・意見交換

《共同研究・新商品開発》

- ・学友会内複数クラブの部員を被験者とする商品開発研究についての依頼対応
- ・研究内容についての相談、共同研究契約書の作成・契約締結、倫理審査申請
- ・各クラブへの研究内容の説明、協力依頼、日程調整、研究実施コーディネート

《強化指定選手を対象とした個別相談》

- ・強化指定選手に対する履修相談・学習計画策定の補助
- ・アプリ等を用いた個別相談、遠征スケジュール・授業出席状況・レポート等提出状況の確認

《セカンドキャリア講習会》

- ・講習会の企画策定・実施内容検討、外部講師の手配・日程等調整・事前打ち合わせ
- ・学生への広報、当日の運営・ビデオ撮影、オンデマンド学習支援システムでの映像配信

学外組織との連携



(3) 社会貢献活動・スポーツ教育活動・スポーツボランティア活動

ウェイトリフティング教室

平成 29 年 12 月 25 日（月）に本学ウェイトリフティング部による中高生向けウェイトトレーニング教室を実施した。

中学生 26 名、高校生 4 名が参加し、ケガを予防し効果を高めるためのウェイトトレーニングの方法について学ぶ機会を提供した。

参加者は競技力の高い学生であったこともあり、トレーニングに対する意識も高く、非常に意欲的に参加していた。現在でも若年層のウェイトトレーニングに関する誤解が多い中、トレーニングの正しい知識を伝えることができた。

トレーニング理論の説明



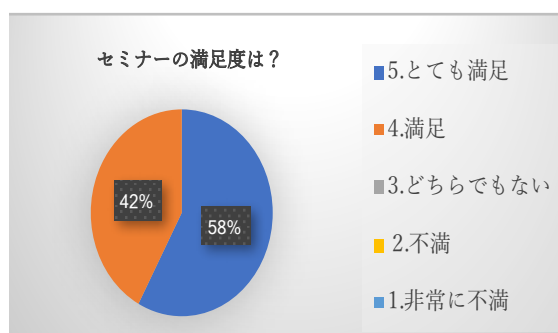
実践中



記念撮影



アンケート結果（満足度）



ビーチバレーボール教室・大会

平成30年2月24日（土）には、本学バレーボール部によるビーチバレーボール教室兼大会を実施した。

日ごろ社会人サークル等において主に体育館でバレーボールを行っている社会人25名が参加し、砂の上でのバレーボール体験および男女混合4名チームによる交流試合を行った。

厳冬期の開催にもかかわらず多くの参加者が集まり、また、ケガもなく教室を無事開催することができた。参加者の半数程度がビーチバレーボールにあまり馴染みのない中、本学の物的資源であるビーチバレーボールコートを活用することで、砂上で行うバレーボールの魅力を伝えるとともに、新たなスポーツ参加の機会を提供することができ、社会貢献の役割を果たすことができた。また、当日はビーチバレーボール部員が各自の専門性を生かして指導および大会運営を行い、本学学生にとってスポーツボランティア活動を行う貴重な機会となった。

ビーチバレーボール部による実演



大会風景

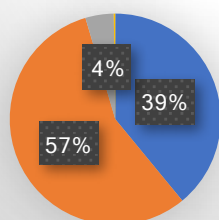


記念撮影



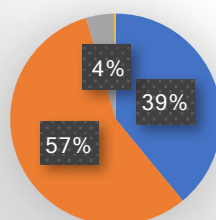
アンケート結果（満足度）

「体験会」の満足度は？



- 5. とても満足
- 4. 満足
- 3. どちらでもない
- 2. 不満
- 1. 非常に不満

試合（大会）の満足度は？



- 5. とても満足
- 4. 満足
- 3. どちらでもない
- 2. 不満
- 1. 非常に不満